

平成21年2月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成20年6月20日

上場会社名 株式会社セキド 上場取引所 東証第二部
 コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 弓削 英昭 TEL (042) 643-6835

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年2月期第1四半期の業績（平成20年2月21日～平成20年5月20日）

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第1四半期	5,142	△13.5	△81	—	△87	—	△92	—
20年2月期第1四半期	5,946	△18.9	63	—	50	—	171	—
20年2月期	24,918	△20.0	313	—	271	—	203	—

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第1四半期	△6	50	—	—
20年2月期第1四半期	12	11	11	81
20年2月期	14	33	13	76

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年2月期第1四半期	11,965		5,438		45.4		383	14
20年2月期第1四半期	13,694		5,522		40.3		388	98
20年2月期	12,117		5,520		45.5		388	88

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
21年2月期第1四半期	△1,280		△2		△132		669	
20年2月期第1四半期	591		308		△533		2,110	
20年2月期	1,545		30		△1,236		2,083	

2. 平成21年2月期の業績予想（平成20年2月21日～平成21年2月20日） 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	11,300	△6.6	64	△43.5	46	△49.2	27	△75.9	1	90
通期	24,000	△3.7	230	△26.6	200	△26.4	160	△21.3	11	28

3. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期 (平成20年 2 月21日～平成20年 5 月20日) におけるわが国の経済は、原油価格や原材料価格の高騰による消費者物価の上昇や企業業績へのコスト負担増の影響による人件費圧迫や失業率の上昇など、景気の後退局面が顕在化しつつあり、個人消費への影響が懸念される状況でありました。

当業界におきましても、個人消費が停滞する中、既存店の売上減少傾向が鮮明化しており、これを補完するための新規出店や事業買収等による業界再編が加速し、市場の競合環境はますます激化する方向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社といたしましては、既存店の営業力強化を目指し、ファッション事業では前事業年度に落ち込んだ高価格帯商品の品揃えの見直しや広告宣伝等の販促を強化し、売上高の確保を目指した結果、売上高については前事業年度に閉鎖した 2 店舗を除き、対前年同期比で 4.6% 減まで回復しております。また、利益面においても、引き続き、中価格帯の高付加価値商品の販売強化を推進するなど、積極的な販促費の投入を行いつつも利益の確保を図ってまいりました。

一方、家電事業においては、売上高は前事業年度に閉鎖した 1 店舗の影響もあって減少したものの、オール電化関連商品や太陽光発電システムへの取組み、地域・顧客密着戦略による競合店との差別化策などが功を奏し、利益面では売上総利益率を対前年同期比で 1.7 ポイント向上させるなど、安定した収益の確保ができております。

これらの状況を勘案し、店舗戦略については、これまでのファッション事業による出店戦略に加え、家電事業についても市場環境等を踏まえ、新規出店を積極的に行っていく方針であります。

これらの結果、売上高は、前事業年度に閉鎖した 3 店舗の減収の影響もあり 5,142 百万円 (前年同期比△13.5%) となりました。利益面においては、売上総利益率は前年より若干上昇したものの、売上高の減少の影響により売上総利益は 194 百万円の減少となりました。また、既存店増収に向けて、販促費用を前年同期比で 2 割程度増加させた他は販管費を抑え込み、前年同期比で 49 百万円の販管費を削減しましたが、売上総利益の減少分をカバーするには至らず、営業損失は 81 百万円 (前年同期は 63 百万円の営業利益)、経常損失は 87 百万円 (前年同期は 50 百万円の経常利益)、四半期純損失は 92 百万円 (前年同期は 171 百万円の四半期純利益) となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の総資産は 11,965 百万円となり、前事業年度末に比べ 152 百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が 1,414 百万円減少しましたが、第 2 四半期の需要期に向けた在庫確保のため商品が 1,007 百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は 6,526 百万円となり、前事業年度末に比べ 71 百万円減少いたしました。これは主に、長短期借入金の純減少額 112 百万円によるものであります。

純資産合計は 5,438 百万円となり、前事業年度末に比べ 82 百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失 92 百万円の計上によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は 45.4% (前年同期は 40.3%、前事業年度末は 45.5%) となりました。

当第 1 四半期における現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前事業年度末に比べ 1,414 百万円減少し、669 百万円となりました。

当第 1 四半期中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期において営業活動の結果減少した資金は 1,280 百万円 (前年同期は 591 百万円の増加) となりました。

これは主に、売上債権 181 百万円、たな卸資産 1,006 百万円の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期において投資活動の結果使用した資金は 2 百万円 (前年同期は 308 百万円の回収) となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得 11 百万円、差入保証金の純減額 9 百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期において財務活動の結果使用した資金は 132 百万円 (前年同期比 75.2% の減少) となりました。これは主に、長短借入金の純減少額 112 百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

中間期及び通期の業績予想については、第 1 四半期の業績は売上高の季節指数が低いいため営業損失の計上となっておりますが、当社の業績は、第 2 四半期並びに第 4 四半期のウエートが高いため、平成 20 年 4 月 4 日に公表しております決算短信 (非連結) の予測数値からの変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ① たな卸資産については、実地たな卸は行わず帳簿たな卸残高によっております。
- ② その他、影響額の僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成20年2月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成21年2月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成20年2月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	2,960	1,719	△1,240	△41.9	3,133
売掛金	974	781	△192	△19.8	596
商品	5,546	5,476	△70	△1.3	4,469
その他	485	631	146	30.1	564
流動資産合計	9,966	8,608	△1,357	△13.6	8,764
II 固定資産					
(1) 有形固定資産					
建物	470	422	△47	△10.2	428
土地	854	854	—	—	854
その他	146	108	△37	△25.9	112
有形固定資産合計	1,471	1,385	△85	△5.8	1,394
(2) 無形固定資産	88	75	△13	△14.7	70
(3) 投資その他の資産					
差入保証金	1,849	1,678	△171	△9.3	1,684
その他	523	422	△101	△19.3	408
貸倒引当金	△205	△205	0	△0.2	△205
投資その他の資産合計	2,167	1,895	△272	△12.6	1,887
固定資産合計	3,728	3,356	△371	△10.0	3,353
資産合計	13,694	11,965	△1,729	△12.6	12,117

科目	前年同四半期末 (平成20年 2 月期 第 1 四半期末)	当四半期末 (平成21年 2 月期 第 1 四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成20年 2 月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形	399	247	△151	△38.1	346
買掛金	962	766	△195	△20.3	502
短期借入金	4,273	3,678	△594	△13.9	3,757
賞与引当金	209	184	△25	△11.9	159
ポイント費用 引当金	161	147	△13	△8.6	147
店舗閉鎖損失 引当金	228	10	△218	△95.6	27
その他	879	625	△254	△28.9	754
流動負債合計	7,115	5,661	△1,454	△20.4	5,696
II 固定負債					
長期借入金	193	34	△158	△82.1	67
退職給付引当 金	313	315	2	0.7	310
繰延税金負債	50	34	△15	△31.0	27
その他	499	480	△18	△3.7	495
固定負債合計	1,056	865	△191	△18.1	901
負債合計	8,172	6,526	△1,645	△20.1	6,597
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	2,979	2,979	—	—	2,979
資本剰余金	4,434	4,434	—	—	4,434
利益剰余金	△1,952	△2,012	△60	—	△1,920
自己株式	△2	△2	△0	—	△2
株主資本合計	5,459	5,398	△61	△1.1	5,490
II 評価・換算差額等	60	37	△22	△37.7	26
III 新株予約権	2	2	—	—	2
純資産合計	5,522	5,438	△83	△1.5	5,520
負債、純資産合計	13,694	11,965	△1,729	△12.6	12,117

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年2月期 第1四半期)	当四半期 (平成21年2月期 第1四半期)	増減		(参考) 前期 (平成20年2月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
I 売上高	5,946	5,142	△803	△13.5	24,918
II 売上原価	4,482	3,873	△609	△13.6	18,910
売上総利益	1,464	1,269	△194	△13.3	6,007
III 販売費及び一般管理費	1,400	1,350	△49	△3.6	5,694
営業利益	63	△81	△144	—	313
IV 営業外収益	13	12	△0	△5.5	48
V 営業外費用	26	19	△6	△26.6	90
経常利益	50	△87	△138	—	271
VI 特別利益	157	2	△155	△98.7	175
VII 特別損失	26	0	△26	△99.1	212
税引前四半期 (当期) 純利益	181	△86	△267	—	234
税金費用	9	6	△3	△35.3	31
四半期 (当期) 純利益	171	△92	△263	—	203

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年2月期 第1四半期)	当四半期 (平成21年2月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成20年2月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益(△損失)	181	△86	234
減価償却費	29	26	128
減損損失	11	—	102
賞与引当金の増加額	58	25	8
ポイント費用引当金の増減額	△6	0	△20
店舗閉鎖損失引当金の減少額等	△132	△24	△154
退職給付引当金の増減額	0	5	△2
固定資産売却益	△147	—	△147
投資有価証券売却益	△10	—	△10
固定資産除却売却損	1	0	4
売上債権 (前受金含む) の増減額	△183	△181	209
たな卸資産の増減額	326	△1,006	1,403
仕入債務の増減額	482	137	△140
その他	38	△136	50
小計	650	△1,239	1,667
利息及び配当金の受取額	2	1	13
利息の支払額	△23	△18	△98
法人税等の支払額	△37	△24	△37
営業活動によるキャッシュ・フロー	591	△1,280	1,545
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の増加額	△0	△0	△300
定期預金の減少額	10	—	110
有形固定資産の取得による支出	△22	△7	△121
有形固定資産の売却による収入	303	—	272
無形固定資産の取得による支出	△1	△4	△2
投資有価証券の売却による収入	210	—	210
差入保証金の取得による支出	△273	△0	△277
差入保証金の回収による収入	82	9	172
その他	△0	0	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	308	△2	30

	前年同四半期 (平成20年 2 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成21年 2 月期 第 1 四半期)	(参考) 前期 (平成20年 2 月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減少額	△30	△60	△240
長期借入金 (1 年内含む) の返済による 支出	△483	△52	△914
設備割賦契約の返済による支出	△20	△19	△81
その他	△0	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△533	△132	△1, 236
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0	0
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少 額)	365	△1, 414	338
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1, 744	2, 083	1, 744
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2, 110	669	2, 083